

## 家族みんなで家庭教育に取り組もう

### 親としての役割を意識し、互いの長所を子どもに伝えよう

子どもにとって家庭は、人間形成の行われるはじめての場所で、心の成長など人間としての基礎ができあがる場所であるといえます。

そこでは、親の果たす役割が非常に重要です。特に、しつけを父親と母親の間で一貫して行うことが、極めて大切であり、互いに協力して行うことが肝心です。

家庭の中では、両親は互いのよい所を子どもに伝えるようにしましょう。子どもは、互いに協力していることを感じたり、両親の互いの長所を聞くことにより、安心し、親の立場と思いを理解することができるでしょう。

### 親子のふれあいの機会を持つ

親子で一緒に、遊ぶこと、食事をする、お風呂に入ること、互いの思いを伝えること、互いに思いを聞くことなど日常生活の中で、できるだけ多く親子のふれあいを持つことが重要です。時間がなければ、手紙やメッセージボードを使って会話をすることも可能です。きっと、あなたの伝えようとする気持ちは十分伝えることができるでしょう。また、学校園等で実施されている子どもと共に活動する行事等に積極的に参加することは、親子のふれあいを深めるだけでなく、子どもや保護者同士のつながりも深めることとなり、子育ての不安や孤立感を解消することとなるでしょう。



### 父親も家事に参加し、子どもに手本を示そう

父親も家庭の中で、役割を積極的に担っていくことが望まれます。父親としての存在だけでなく、父親としての役割を果たすことが大切です。また、家事は、母親が全てを担うものではなく、夫婦が相協力して行うものであるという意識と行動が重要です。

また、善悪の区別をわきまえさせるために、間違っただけには本気で叱り、善い行いには、本気でほめるといったメリハリをつけたしつけが大切です。そういった、しつけ、家庭教育の中で、父親自身も人間としての幅を広げ、仕事では得られない喜びや楽しみを感じることができるでしょう。



## 食事を大切にしよう

### 空腹で食卓につけるよう調整しよう

平成17年に制定された「食育基本法」の中で、「様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」の重要性が示されています。

食に関する知識は、学校でも知識として学ぶことはできませんが、それを実践につなげ、生かしていくためには、家庭の役割が大切です。

家庭では、空腹で食卓につけるように、「朝ごはんは、必ず食べさせること」、「おやつは、時間と量を定めること」、「決まった時間に食事をする」ことが大切です。この食事のリズムが、規則正しい生活につながります。



### みんなで楽しく食事しよう

人は、食事でおなかを満たすことができます。さらに、楽しい食事は、心も満たすことができます。みんなで、ホッとできる心安らぐ食卓づくりに気を付け、また、楽しく食べるためのマナーも教えましょう。旬の食べ物や、伝統行事の時の料理である行事食などを取り入れ、郷土の食材や料理を大切に、子どもたちに伝えていきましょう。

## 家族みんなで安全について話そう

### 家庭で安全について話そう

家庭の中で、安全について話題にし、意識的に話す機会を設けましょう。地震など天災がおきたとき、子どもだけにいる時に電話があったり、突然の訪問者があったときなど、どのようにしたらいいかなど、家庭の中でのルールや外出するときのルールなどを、子どもたちと話ししましょう。子どもたちは、その中から、色々な場合の可能性や危険性、安全について学ぶことができます。

### 地域の安全を見守ろう

防犯や学校安全に関するボランティア活動へも積極的に参加しましょう。

子どもたちと一緒に通学路を歩き、危険な箇所を把握するなど、親子で安全を考える機会を持ちましょう。また、PTAや地域での安全見守り活動にも積極的に参加しましょう。

